

有形文化財 歴史資料

市指定

あきとみじんじゃほうのうたち ち むめい つけり たちこらえ
飽富神社奉納太刀 無銘 附 太刀拵

- 所在地：下新田1133
(市郷土博物館)
- 所有者：袖ヶ浦市教育委員会



太刀



鍔 (つば)



鞘 (さや)

刃の長さが72.6cmあり、腰元での反りが強く、刀身に対して茎が短いなどの形態から、平安時代末期、12世紀ごろに造られた、市内で最も古い日本刀であることがわかりました。

この時代の刀は全国的にも少なく、また、古代以来の系譜を持つ飽富神社に伝わったという歴史的価値も高く、袖ヶ浦の古代から中世への過度期を物語る資料として大変貴重です。

なお、太刀と一緒に保管されていた鞘や鍔などの太刀拵は、その特徴から南北朝時代から室町時代初期の作と考えられ、神社での奉納の状態を示す資料としても貴重なものです。